

## 公立大学法人横浜市立大学 第4期中期計画策定 進捗状況について

### 1 趣旨

第4期中期計画における骨子項目については、昨年度から検討を始め、令和4年3月に一度まとめたところです。

その後、法人評価委員会において重複項目の整理等のご意見をいただいたほか、学内においても具体的な取組を検討していく中で、修正が必要となりました。

そのため、今後策定を進めていくにあたり、骨子項目を修正（整理）しました。

### 2 修正の概要（詳細は「5 第4期中期計画骨子項目（案）」参照）

#### (1) 考え方

「市民をはじめステークホルダーにとってわかりやすい構成であること」、「実績評価の際に評価しやすい構成であること」を意識し、次のとおり修正しました。

#### (2) 主な修正点

- ・「地域貢献」・「グローバル化」の柱については、横断的な取組となることから、柱立てせず各分野の計画に組み込み、別紙で取組一覧をまとめます。
- ・「グローバル化」の表現を「グローバル展開」に変更します。
- ・「施設整備」の柱については、柱立てせず、「法人経営」の柱にまとめます。
- ・その他、重複・類似項目等を整理し、計画数を減らしました。

※令和3年度末時点：73計画 → 令和4年6月時点：51計画

### 3 今後の展開

- ・引き続き、中期目標や法人評価委員会でのご意見を踏まえながら、具体的な取組と適切な指標（目標値）の検討を進めていきます。
- ・第4期中期計画期間における収支見通しについては、市の厳しい財政状況を踏まえると、運営費交付金の削減等の厳しい調整が想定されますが、今後横浜市とも協議を重ねていきます。

### 4 法人評価委員会での意見聴取（予定）

令和4年7月1日（金）	取組内容（案）
8月19日（金）	取組内容（案）、指標（案）
11月（予定）	取組内容（案）、指標（案）
令和5年2月（予定）	法定意見聴取

## 5 第4期中期計画骨子項目（案）

【凡例】・下線は修正点  
・㊦はペンディング

### 中期計画

#### I 教育

#### <教育の柱> 問題発見・課題解決力の涵養と新たな価値を創造する人材の育成

##### 1 新たな時代を見据えた教育の提供

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | <u>教育の質保証と新たな教育手法の開発</u><br><u>①高等教育推進センターを中心とした教育の質保証の推進</u><br><u>②高等教育推進センターを中心とした新たな教育手法の開発等</u> |
| (2) | <u>本学の特徴を活かした領域横断教育の推進</u><br><u>①学術院を軸にした領域横断教育の推進</u><br><u>②共通教養教育の改革</u><br><u>③グローバル教育の推進</u>   |

##### 2 5学部6研究科における教育の充実

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | <国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部><br><u>㊦ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</u>                              |
| (2) | <医学部><br><u>㊦ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</u>  |
| (3) | <都市社会文化研究科・国際マネジメント研究科・生命ナノシステム科学研究科・生命医科学研究科・データサイエンス研究科><br><u>㊦ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</u> |
| (4) | <医学研究科><br><u>㊦ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</u>  |

##### 3 時代に即した学修環境・学生支援の提供

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | <u>学修者本位の教育に向けた学修環境提供</u><br>①DX（LMS）、多様な授業形態の活用★IV-2(1)①と関係<br>②学術情報の提供のあり方<br>③問題発見・課題解決能力養成のための学修環境整備・支援 |
| (2) | <u>学生生活支援</u><br>①学生支援のあり方検討<br>②課外活動支援（ <u>ボランティア活動含む</u> ）<br>③健康面での支援、多様な学生への配慮                          |

# I 教育

## 4 多様で優秀な人材の獲得と輩出

(1)	優秀な人材獲得
	①高大連携のあり方見直し ②質が高く多様な人材を獲得する入学者選抜 ③ <u>優秀な留学生の戦略的獲得</u>
(2)	グローバル教育、多様な学生受入・支援
	①多様な学生が教育を受け成長できる環境 ② <u>留学生にとって魅力あるカリキュラムと国際共修プログラムの拡充</u>
(3)	キャリア支援
	①社会の動向を見据えたキャリア支援 ②多様性を踏まえたキャリア支援 ( <u>YCU-ADVANCEプログラムによる出口支援の充実とダイバーシティ推進含む</u> )

## 5 社会人の学び直し・生涯学習の推進

(1)	<u>リカレント教育の推進</u>
	① <u>社会ニーズに対応したリカレント教育の提供</u>
(2)	<u>戦略的なエクステンション講座の実施</u>
	① <u>幅広い年齢層やライフステージに対応した学びの提供</u>

## Ⅱ 研究

### <研究の柱> 基礎的研究力及び高い研究倫理を土台とした戦略的かつ先進的な研究 及び学際的研究の推進

#### 1 先進的・学際的研究等の推進

##### (1) 先進的な医科学研究の推進

- ① 先端的な医科学研究の推進
- ② 世界レベルの研究拠点となる基盤技術の推進
- ③ ①及び②をもとにしたトランスレーショナルリサーチの更なる推進
- ④ 臨床研究の推進

##### (2) 各領域における研究活動の推進

- ① 世界的にも先鋭的な研究成果が創出できる研究拠点の構築
- ② 学際的研究の推進
- ③ 基礎的な研究力の強化

#### 2 オープンイノベーション等を通じた研究の推進

##### (1) オープンイノベーション等を通じた研究の推進

- ① オープンイノベーションの推進
- ② 大学発ベンチャーの創出支援
- ③ 研究成果の社会実装

#### 3 研究基盤の強化及び支援体制の整備

##### (1) 研究基盤の強化

- ① 研究支援体制等の強化
- ② 研究者の研究環境等の整備
- ③ 研究支援人材の育成

##### (2) 研究者の育成

- ① 若手研究者の支援

### Ⅲ 医療

**<医療の柱> 高度で安全な医療を提供し、地域医療の最後の砦として、市民に信頼され、教職員が誇れる大学病院**

#### 1 患者本位の医療の提供と医療安全の取組

(1) 患者本位の医療提供
①療養環境の向上
(2) 安全・安心な医療の提供
①感染制御、コンプライアンス、個人情報保護、医療安全
②施設整備
(3) ICT・DXの推進
①ICT、遠隔診療（ITやデジタルを活用した業務の変革）
(4) チーム医療の強化
①多職種連携したチーム医療の推進や、IPW（多職種連携）・IPE（専門職連携教育）の強化及び大学教員とのユニフィケーション（ミックス） <sup>*</sup> の推進

#### 2 質の高い医療を提供、大学病院としての特色を活かした臨床研究の推進

(1) 高度で質の高い医療の提供
①ゲノム医療
②高度で先進的な医療
(2) 医療の国際化への対応
①医療の国際化
②外国籍職員の就業支援・促進の活用
③海外との医療交流

#### 3 政策的医療への貢献、地域医療の推進

(1) 地域医療への貢献
①地域医療への貢献
(2) 政策的医療の推進
①がん医療・2025年問題・2040年問題・感染症医療・災害時医療・救急医療・最後の砦
(3) 地域医療連携の推進
①地域医療構想の実現 ②地域包括ケアシステムの構築

※ユニフィケーション（ミックス）：看護の実践と教育・研究とが連携し、看護教育ならびに臨床看護の質の向上を図っていかうとするもの

### Ⅲ 医療

#### 4 明日を担う質の高い医療人材の育成と活用

(1) 医療人材の育成

- ①アカデミックな分野も含めた看護師・コメディカル育成（活用）
- ②特定行為に係る看護師
- ③教職員研修
- ④医療人材育成（多角的な診療を担う人材育成）
- ⑤感染症医療人材
- ⑥予防医学人材

(2) 経営力を備えた人材育成

- ①病院経営人材

(3) 医療人材の活用

- ①職種を超えた共同研究

## IV 法人経営

### <法人経営の柱> 時代の流れに柔軟に対応できる持続可能な法人経営の確立

#### 1 コンプライアンス推進・ガバナンス強化

- |     |                                |
|-----|--------------------------------|
| (1) | 互いの立場を尊重しあえる風土づくり（風通しのよい職場づくり） |
|     | ①コンプライアンスの推進                   |
| (2) | 内部統制をはじめとするガバナンス強化             |
|     | ①内部統制システムの運用                   |
|     | ②学生・教職員の安全確保に向けた危機管理体制の強化      |
| (3) | 個人情報保護の推進                      |
|     | ①情報漏えい再発防止策の実施                 |
|     | ②個人情報保護を含めた総合的な情報セキュリティ対策      |
|     | ③個人情報の適正管理の実施                  |

#### 2 不断の経営改善及び持続可能な経営のための自己収入確保

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | DX推進及び業務改善  |
|     | <u>①学修データの集約・一元化とその分析による学びの個別最適化（教育DX）</u>                |
|     | <u>②事務効率化・利便性向上を目指した総合的な事務システム改善（文書管理、財務会計、人事給与、職員認証）</u> |
|     | <u>③教職員の情報共有プラットフォーム統一化の取り組み</u>                          |
|     | <u>④在宅テレワーク時における電話対応可能な環境整備</u>                           |
|     | <u>⑤事務職員執務スペースの無線LAN環境の拡充</u>                             |
|     | <u>⑥ネットワーク基盤・情報セキュリティ基盤の更新（発展的強化）</u>                     |
| (2) | 自律的な運営に資する外部資金獲得施策の実施                                     |
|     | ①外部資金獲得のための計画的・戦略的な体制整備                                   |
|     | ②横浜市立大学基金の拡充に向けた長期計画策定と実行                                 |
| (3) | 法人全体の効率的かつ効果的な運営  |
|     | ①法人経営のあり方の検討  |

#### 3 教職員エンゲージメントの向上

- |     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| (1) | 法人経営を支え、YCUブランドの向上に寄与する人材の育成と活用 |
|     | ①教職員が十分に力を発揮できる人事制度の適正な運用と構築    |
| (2) | 教職員が生き生きと働くための組織風土の醸成           |
|     | ①ダイバーシティの推進による誰もが活躍できる職場環境の実現   |
|     | <u>②働き方改革、タスクシェアリング</u>         |
|     | <u>③多様な就労形態</u>                 |

## IV 法人経営

### 4 横浜市立大学ブランドの強化と広報（100周年・卒業生・基金の連動）

- |     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| (1) | 100周年事業（5プロジェクト）の実現とその先の将来につながる取組 |
|     | ①周年事業推進体制整備                       |
| (2) | 研究成果の発信                           |
|     | ①研究成果の積極的発信                       |
| (3) | 卒業生連携                             |
|     | ①周年事業を契機とした卒業生による支援ネットワーク         |
| (4) | 横浜ブランドを活かしたグローバルネットワークの構築         |
|     | ①戦略に基づいた海外協定校の新規開拓と既存協定校との交流推進    |
|     | ②国際交流活動における広報発信                   |
| (5) | 経営方針に沿った戦略的広報の展開                  |
|     | ①YCUブランドの確立・浸透およびそれに基づく最適な広報展開    |

### 5 課題解決を目指した地域社会との協働の推進

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | コーディネート機能の強化による地域連携の推進と発信              |
|     | ①地域貢献センターのコーディネート機能強化による、県市等との連携の推進・発信 |

### 6 医学部・病院等再整備事業及び統合を見据えた取組の推進並びに経営基盤の強化

- |     |                                     |
|-----|-------------------------------------|
| (1) | 2病院の連携・経営基盤の強化                      |
|     | ①2病院の連携の推進と経営基盤の強化（役割分担）            |
| (2) | 2病院の共通化・共有化の推進                      |
|     | ②2病院の共通化・共有化                        |
| (3) | 最高水準の医療・医学研究・人材育成拠点の実現に向けた再整備の検討推進  |
|     | ①医学部・病院等再整備基本計画、実施計画、基本設計書、実施設計書の作成 |

### 7 魅力的なキャンパス・病院作り

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | カーボンニュートラルをはじめとする社会的要請への対応                                |
|     | ①本学キャンパス内の各建物の正確な現状把握（省エネ性能の評価や設備の基礎調査）に向けた作業の委託検討        |
|     | ②横浜市による総合研究教育棟及びサークル棟の大規模改修時のZEB化の実現検討                    |
| (2) | キャンパスマスタープランの具現化  |
|     | ①横浜市による総合研究教育棟及びサークル棟の大規模改修時にイノベーション・commons（共創拠点）を整備     |
|     | ②国際混住型留学生宿舎の確保と多文化共生の推進                                   |
| (3) | 省エネを考慮した計画的メンテナンス   |
|     | ①学内建築物の基礎的調査を踏まえた、効率的なメンテナンス計画策定の検討                       |
|     | ②横浜市による大規模改修時にあわせたレジリエンス強化に資する整備計画の検討                     |
|     | ③本学の「環境方針」に基づく環境管理システムにつながる、省エネ・脱炭素化実現を考慮した計画的メンテナンスの実施検討 |

### 8 財務内容の改善：運営交付金・貸付金

## V 自己点検及び評価

- |     |                                |
|-----|--------------------------------|
| (1) | 目標の浸透と適切かつ効率的な自己点検・評価の実施及び情報公開 |
|     | ①適切な指標やデータに基づく評価の実施            |

## 【横断的項目】地域貢献（取組項目再掲）

### <地域貢献> 横浜市立大学の特長を活かした、社会とつながる地域貢献の推進

#### 1【教育】

- |     |                   |
|-----|-------------------|
| (1) | 5学部6研究科における教育の充実  |
| (2) | 学生生活支援            |
| (3) | 多様で優秀な人材獲得        |
| (4) | 戦略的なエクステンション講座の実施 |

#### 2【研究】

- |     |                       |
|-----|-----------------------|
| (1) | 先進的な医科学研究の推進          |
| (2) | 各領域における研究活動の推進        |
| (3) | オープンイノベーション等を通じた研究の推進 |

#### 3【医療】

- |     |              |
|-----|--------------|
| (1) | ICT・DXの推進    |
| (2) | 高度で質の高い医療の提供 |
| (3) | 地域医療への貢献     |
| (4) | 政策的医療の推進     |
| (5) | 地域医療連携の推進    |

#### 4【法人経営】

- |     |                           |
|-----|---------------------------|
| (1) | コーディネート機能の強化による地域連携の推進と発信 |
|-----|---------------------------|

## 【横断的項目】グローバル展開（取組項目再掲）

### <グローバル展開> “量から質へ” 国際社会と連動したグローバル展開

#### 1【教育】

- |     |                     |
|-----|---------------------|
| (1) | 教育の質保証と新たな教育手法の開発   |
| (2) | 本学の特徴を活かした領域横断教育の推進 |
| (3) | 5学部6研究科における教育の充実    |
| (4) | キャリア支援              |
| (5) | グローバル教育、多様な学生受入・支援  |
| (6) | 多様で優秀な人材獲得          |

#### 2【研究】

- |     |                       |
|-----|-----------------------|
| (1) | 先進的な医科学研究の推進          |
| (2) | 各領域における研究活動の推進        |
| (3) | オープンイノベーション等を通じた研究の推進 |

#### 3【医療】

- |     |            |
|-----|------------|
| (1) | 医療の国際化への対応 |
|-----|------------|

#### 4【法人経営】

- |     |                           |
|-----|---------------------------|
| (1) | 横浜ブランドを活かしたグローバルネットワークの構築 |
| (2) | キャンパスマスタープランの具現化          |